

16～21mm厚品 EX S	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	RC造外断熱 専用ブラケット工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

構成断面

- 既存外壁にひび割れなどが確認し、必要に応じて補修を行います。
- 墨出し位置に沿ってブラケットをRC用アンカー(M10)で留め付けます。ブラケットの設置間隔は建物条件、アンカーの引張荷重に応じて決定します。最大間隔は水平方向606mm、鉛直方向1500mmです。
- 断熱材はブラケットに対し、押さえつけるように貫通させます。
- 鋼製胴縁は一般部には断面寸法40×40mm以上・厚さ1.6mm以上、出隅部、開口部周囲、左右接合部(10尺品)などは断面寸法75×45mm以上・厚さ1.6mm以上の鋼材を使用し、ブラケット50に対しビス2本で固定します。不陸の大きい場合は不陸調整部材を使用します。
- 鋼製胴縁の上下接合部は10～20mm離して設置します。

